

- 「思いやりをもって行動している」「学校生活のルールを守っている」の肯定的回答
生徒の95%前後（引き続き、高い数字を維持）
- △「給食に満足」の肯定的回答
生徒の66.8%（昨年度とほぼ横ばい）
- 「授業を大切にしている」の肯定的回答
生徒の90%超（昨年度より2.6%減だが、高い数字を維持）
1年生徒の否定的回答が10%を超えているのが課題
- 「授業の進め方や教え方をいろいろと工夫」の肯定的回答
生徒の90%超（昨年度より0.8%減だが、高い数字を維持）
- ▲「家庭学習の習慣が身についている」の肯定的回答
保護者の53.5%（昨年度より0.4%減）
- ▲「何事にも自ら考え、主体的に判断し、行動しようとしている」の肯定的回答
保護者の65.1%（昨年度より0.7%減）
1年保護者の否定的回答が半数近くあるのが課題
- 「私たちの意見をよく聞いてくれる」「生徒や保護者の悩みや相談に適切に応じている」等、
生徒理解・相談活動に関するアンケート項目の肯定的回答
生徒の92.1%（昨年度より5.1%増）、保護者の81.4%（昨年度より0.6%増）
- 「学校行事に積極的に参加している」「学校行事の取組みは教育効果をあげている」の肯定的回答
生徒の91.2%（昨年度より8.5%増）、保護者の88.7%（昨年度より7.8%増）
- ▲「将来の夢や希望、目標を持っている」「自分のことが好きである」の肯定的回答
ともに生徒の60%台（昨年度より微減）

「生徒の主体性を育てるには」
「受け身」の授業からの脱却…
自分事として考えられる思考…

⇒○今年度の重点取組み（授業改善・班活動・生徒会活動）について、
生徒も保護者の皆様も一定評価。

○教員の授業での工夫・相談活動などについて、生徒も保護者の皆様も評価。

○学校でのモラル・ルールを守る意識は、引き続き非常に高い数字を維持。

○学校がめざす生徒の主体性（行動面・生徒会活動・家庭学習等）について、
保護者からの肯定的回答が減少、今後も継続・工夫が必要。

○「将来の夢や希望、目標を持っている」「自分のことが好きである」等について、
自己肯定感・自己効力感があまり高くない生徒が多いのでは…という課題が、引き続き残る。
「自分に自信が持てる」取組みを、さらに進めていくことが必要である。

「自信を持つためには」
成功体験の積み重ね…
自分を知ること…
自分の考えを持つこと…
自分の考えを話せること…